

議院要覧(三)

人閣議 第二八六号
起 案
平成 五年二月二〇日
閣議 決定
平成 五年二月二二日
施行
平成 五年二月二二日
裁可
平成 五年二月二二日
平成 年 月 日

内閣総理大臣

野

内閣官房長官

武



内閣参事官



羽田 国務大臣

五

畑 国務大臣

野

五十嵐 国務大臣

五

江田 国務大臣

五

三ヶ月 国務大臣

五

熊谷 国務大臣

五

佐藤 国務大臣

五

久保田 国務大臣

五

藤井 国務大臣

五

伊藤 国務大臣

五

愛知 国務大臣

五

武村 国務大臣

五

赤松 国務大臣

五

神崎 国務大臣

五

石田 国務大臣

五

広中 国務大臣

五

大内 国務大臣

五

坂口 国務大臣

五

上原 国務大臣

五

山花 国務大臣

五

法務事務次官

根

來

泰

周

検事長に任命する

一級に叙する

内

閣

外務事務官

恩

田

宗

同

林

安

秀

特命全權大使に任命する

法務省人任第3388号
平成5年12月17日

内閣総理大臣 殿

法 務 大 臣



下記のとおり人事異動を実施したい内議がありますので、
閣議の上、発令願います。

なお、本件は、欠員中の東京高等検察庁検事長に法務事務
次官根来泰周を充てようとするものであります。

記

法務事務次官 根 来 泰 周
検事長に任命する
一級に叙する

(平成5年12月22日付け)

法
務
省

本籍	現住所	出生地	年	月	日	事	項	庁名
ふりがな	氏名	出生年月日						
ねころ	根来	昭和七年七月三十一日生						
やすちか	泰周							

四六	三	二五	法務大臣官房人事課付に充てる	法務省
"	"	"	法務事務官（法務大臣官房人事課付）の併任を解除する	"
"	四	二四	アメリカ合衆国へ出張を命ずる	"
"	五	二〇	出張期間は昭和四六年五月一八日から同月二三日までとする	"
"	八	二七	檢察官特別考試審査会臨時委員に併任する	"
"	九	一〇	併任の期間は昭和四六年一二月三一日までとする	"
"	一	二二	沖繩へ出張を命ずる	"
四七	一	二二	出張期間は昭和四六年九月八日から同月一三日までとする	"
"	九	一〇	司法試験（第一次試験）審査委員に併任する	"
"	一	二二	併任の期間は昭和四六年一二月三一日までとする	"
"	五	二七	司法試験（第二次試験）審査委員に併任する	"
"	一	二四	併任の期間は昭和四七年一二月三一日までとする	"
四八	一	二四	司法試験（第二次試験）審査委員に併任する	"
"	三	二三	併任の期間は昭和四八年一二月三一日までとする	"
"	"	"	法務省刑事局参事官に充てる	"
"	"	"	かねて法務大臣官房人事課付に充てる	"
"	"	"	法務事務官（法務大臣官房人事課付）の併任を解除する	"
"	六	二六	檢察官特別考試審査会臨時委員に併任する	"
"	八	一五	併任の期間は昭和四八年一二月三一日までとする	"
"	二〇		法務大臣官房人事課付に充てることを解く	"
"			大蔵事務官（国税庁調査査察部査察課）に併任する	国 税 庁

根 來 泰 周			
四九	二	二五	檢察官特別考試審査会臨時委員の併任を解除する 司法試験（第二次試験）審査委員に併任する
〃	五	二〇	併任の期間は昭和四九年二月三日までとする オランダ、西ドイツ、オーストリア、スイス、フランス、連合 王国、フィンランド、スウェーデン及びデンマークの各国へ出 張を命ずる
五〇	一	二五	出張期間は昭和四九年六月六日から同年七月九日までとする かねて法務総合研究所教官に充てる 司法試験（第二次試験）審査委員に併任する
〃	〃	〃	併任の期間は昭和五〇年二月三日までとする
〃	二	一	かねて法務省人権擁護局付に充てる
〃	〃	〃	大蔵事務官（国税庁調査査察部査察課）の併任を解除する 司法試験（第二次試験）審査委員に併任する
五一	一	二四	併任の期間は昭和五一年二月三日までとする
昭和五一	三	二二	法務大臣官房参事官に充てる 法務省人権擁護局付に充てることを解く 法務総合研究所教官に充てることを解く 東京高等検察庁検事に配置換する 法務大臣官房参事官に充てる 法務省刑事局刑事課長に充てる 法制審議会幹事に併任する 法務省刑事局総務課長に充てる 検察官特別考試審査会臨時委員に併任する 併任の期間は昭和五五年二月三日までとする 副検事選考審査会予備委員に併任する 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の 地位に関する協定第二五条による合同委員会の補助機関たる刑
法 務 省	法 務 省	法 務 省	法 務 省

[illegible]

[illegible]

				根 來 泰 周	
昭和三十三	七	二六	日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定第二〇条による合同会議日本政府代表代理を免ずる	内閣	法務省
〃	八	九	動物保護審議会幹事に任命する	〃	〃
〃	九	七	売春対策審議会幹事に任命する	〃	〃
〃	一〇	一	自然環境保全審議会幹事に任命する	〃	〃
〃	一一	二五	青少年問題審議会幹事に任命する	〃	〃
〃	一二	三〇	第一一四回国会政府委員を命ずる	〃	〃
平成元	六	二八	選挙制度審議会幹事に任命する	〃	〃
〃	九	二八	第一一六回国会政府委員を命ずる	〃	〃
〃	一二	一九	法制審議会幹事に併任する	法務省	〃
二	一	二二	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所	〃
〃	三	七	第一一八回国会政府委員を命ずる	内閣	〃
〃	六	一三	法務事務次官に任命する	法務省	〃
〃	〃	〃	司法試験管理委員会委員長に併任する	〃	〃
〃	〃	〃	第一一三回国会政府委員を命ずる	内閣	〃
〃	〃	一九	日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二五条による合同委員会日本政府代表代理を免ずる	〃	〃
〃	〃	二六	日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二五条による合同委員会日本政府代表代理を免ずる	〃	〃
〃	七	五	司法修習生考試委員会委員を委嘱する	最高裁判所	〃
〃	〃	〃	法制審議会少年法部会委員に併任する	〃	〃
〃	〃	〃	法制審議会刑事法部会委員に併任する	〃	〃
〃	〃	〃	副検事選考審査会委員に併任する	〃	〃
〃	〃	〃	検察官特別考試審査会委員に併任する	法務省	〃
六三	一	二二	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所	〃
〃	〃	二八	第一一二回国会政府委員を命ずる	内閣	〃
〃	一二	一九	法制審議会幹事に併任する	法務省	〃

法 務 省

												平 成 五	法 務 省	根 來 泰 周
												三		
												一五		
												国会等移転調査会幹事に任命する		
												平成六年三月三十一日まで勤務延長する		
												内 閣		
												法 務 省		
												出張期間は平成四年一〇月九日から同月二三日までとする		
												国へ出張を命ずる		
												ドイツ、オーストリア、ハンガリー、スイス及びフランスの各		
												法制審議会委員に併任する		
												法制審議会委員に併任する		
												鉄道整備基金設立委員に任命する		
												消費者保護会議幹事に任命する		
												中央交通安全対策会議幹事に任命する		
												公害対策会議幹事に任命する		
												海外移住審議会幹事に任命する		
												司法修習生考試委員会委員の委嘱を解く		
												最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員を免する		
												地域改善対策協議会委員に任命する		
												国有財産中央審議会委員に併任する		
												法制審議会委員に併任する		

(大臣官房) 外務事務官 恩 田 宗

(在ヴァンクーヴァー日本国)
総領事館 総 領 事 同 林 安 秀

特命全権大使に任命する (以上十二月二十二日付)

右のとおり発令を願います。

平成五年十二月十六日

外務大臣 羽 田 孜



内閣総理大臣 細 川 護 熙 殿

外 務 省

おつて、恩田大使にはタイ国駐筈、林大使にはニカラグァ国駐筈を命ずるものであります。

履 歴 書

本籍

旧姓名

おん 田

たかし 宗

昭和八年六月二六日生

年 号 月 日 任 免 賞 罰 等 庁 名

昭三一 三 東京大学法学部第二類卒業

一〇 八 外交官領事官採用試験合格

一、一五 外務事務官に任命する

欧米局勤務を命ずる

三二 四一 アメリカ局勤務を命ずる（法律第一〇

号）

八一〇 在アメリカ合衆国日本国大使館在勤を

外 務 省

命ずる

昭三二 八一〇 外務書記を命ずる

三三 四一 外交官補を命ずる

三四 六二六 在ニューヨーク日本国総領事館在勤

を命ずる

領事官補を命ずる

三六 七二一 欧亜局中近東アフリカ部中近東課勤務

を命ずる

四〇 五 四 中近東アフリカ局中近東課勤務を命ず

る（政令第一四五号）

七一五 経済協力局国際協力課勤務を命ずる

四二 三一〇 経済協力局勤務を命ずる

七五 在ヴィエトナム日本国大使館在勤を命

			する	
			二等書記官を命ずる	
四四	四一		一等書記官を命ずる	
四五	八五		経済協力局経済協力第一課勤務を命ずる	
			る	
四七	八一		国際連合局社会課長に昇任させる	
四九	七二〇		アジア局調査官を命ずる	
五〇	七二五		在連合王国日本国大使館在勤を命ずる	
			参事官を命ずる	
五一	一二、一三		在ロンドン日本国総領事館に併任する	
			総領事を命ずる	
五二	六一五		国際連合日本政府代表部に配置換する	
五四	七四		大臣官房在外公館課長に配置換する	
外務省				
昭五六	一二〇		大臣官房会計課長に配置換する	
五七	六一五		大臣官房外務参事官に配置換する	
			大臣官房調査企画部に併任する	
	一二、一五		アジア局に併任する	
			大臣官房調査企画部の併任を解除する	
五八	一一八		大臣官房審議官に昇任させる	
			アジア局に併任する	
	一二、二六		経済局次長に配置換する	
六〇	八一		経済協力開発機構日本政府代表部に配置換する	
			参事官を命ずる	
			経済協力開発機構日本政府代表部在勤	
			特命全権大使を補佐し経済協力開発機	

[illegible]

履 歴 書

本籍

旧姓名

はやし
林

やす
安
ひで
秀

昭和一一一年五月一六日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	序 名
昭三八	九二七	外務公務員採用上級試験合格	
三九	三	東京大学文学部社会科学科卒業	
	四一	外務事務官に任命する	
		条約局勤務を命ずる	
	八一八	在暹合王国日本国大使館在勤を命ずる	
		外交官補を命ずる	
四一	七一	在マレーシア日本国大使館在勤を命ずる	
外 務 省			
		る	
昭四一	七一	三等書記官を命ずる	
四三	八五	アジア局勤務を命ずる（南西アジア課）	
四四	六二三	アジア局勤務を命ずる	
四五	八二五	条約局国際協定課勤務を命ずる	
四八	七一四	在スリ・ランカ日本国大使館在勤を命ずる	
		する	
		二等書記官を命ずる	
四九	四一	一等書記官を命ずる	
五〇	六一〇	在暹合王国日本国大使館在勤を命ずる	
五二	三二一	大臣官房領事移住部領事第一課に配置	
		換する	
一一五		条約局に配置換する	

五四	七二	内閣法制局参事官（第三部）に昇任さ	
		せる	
五六	一四	外務事務官（条約局調査官）に転任さ	
		せる	
	二〇	国際連合局科学課長に配置換する	
五七	七三	国際連合日本政府代表部に配置換する	
		参事官を命ずる	
五九	九一	在パングラデシュ日本国大使館に配置	
		換する	
六二	四二〇	大臣官房文書課長に配置換する	
平二	四一五	在ヴァンクーヴァー日本国総領事館に	
		配置換する	
		総領事を命ずる	
外務省			

閣 議 説 明 メ モ

閣議日 12月21日(火)

発令日 12月22日(水)

●特命全権大使に任命する

タイ国駐劄を命ずる

外務事務官(大臣官房)

恩 田 宗

8/1 大臣官房付

恩 田 宗 → タイ国駐劄
藤 井 宏 昭
12/15 命帰朝

●特命全権大使に任命する

ニカラグア国駐劄を命ずる

外務事務官(ニカラグア国駐劄兼事務官)

林 安 秀

10/15 命帰朝

林 安 秀 → ニカラグア国駐劄
荒 船 清 彦
8/1 免本官